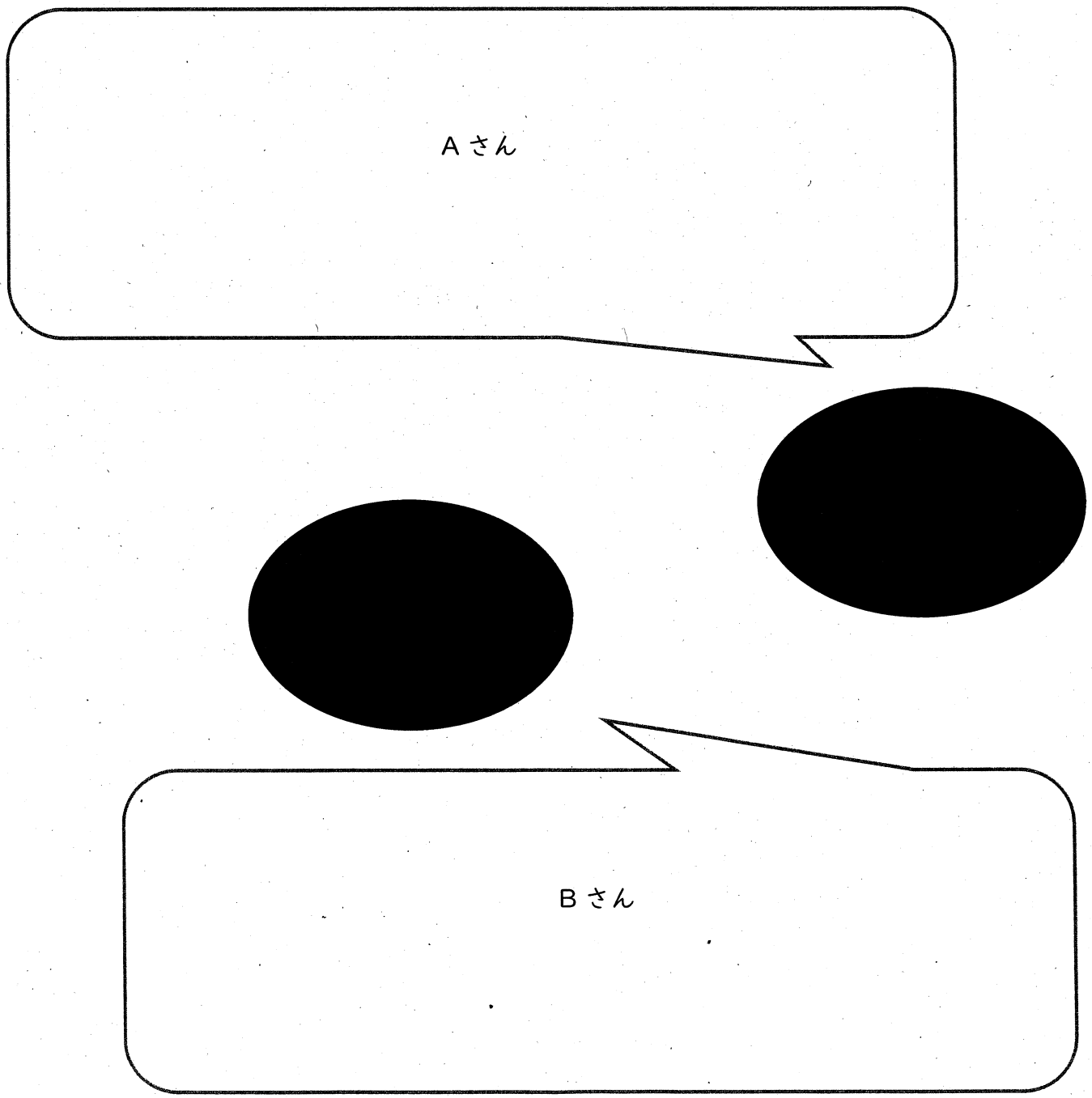
医療的ケアって？

口・鼻からの吸引やペースト食・栄養剤などを鼻・胃・腸から注入するなどの日常生活に必要とされる医療的な生活の援助のことです。通常、医師や看護師が行う医療行為を家族や研修を受けた支援者が行うことをいいます。

私たち、医療的ケア（生活の援助）を受けながら、
地域で生活をしています



医療的ケアが必要な方・ご家族が困っていること

歩道が狭いところは車いすで通行が怖い、
また段差、傾度のきつい歩道も多いので不便

短期入所や放課後等デイサービスを
利用するにも医療的ケアがあると
行ける場所が限られている

駐車場で身障スペースが
空いていないことも多く、
スロープを出して乗り下ろし
させる場所を確保するのが大変

トイレに荷物を置く場所や
ケア用品を置けるスペースがなく
使いづらい

夜中にも吸引、導尿、注入等の
ケアがあり主な介助者である
母が朝までぐっすり
寝られる日がない

下の子がまだ小さくマスクや隔離等の
感染対策が十分にできず、
兄弟間で風邪をうつしあってしまう

狭いエレベータで車いすを
押しながら行先階の
ボタンを押しづらい時がある

かかりつけ医が総合病院であるため
ワクチン接種が受けられず困った
（専門医のいる個人病院がなかなか
見つからず受け入れも困難であるため）

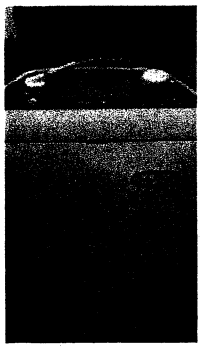
外出先のお店では、まず車いすが
店の入り口の幅に入れるのかを
確認して入っても座席の通路幅が
狭いところには入れず困る

オムツやパットを替えたり、
着替えたりする時に
大人用ベッドがないところが
多いので困る

現状、側弯症等の症状が無いと
整形外科で継続受診不可能

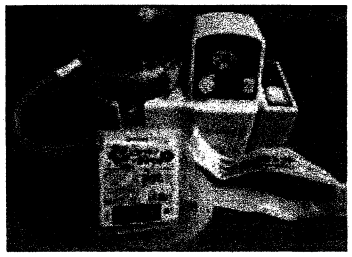
入れるトイレの数が少ない為、
ケアに時間がかかってしまった時は
待っている人がいると焦る

医療的ケアの必要な方の「元気」を助けてくれている医療機器や事業等の例



酸素
モニターのSPO2（血中酸素飽和度）が低い場合、
空気よりも高濃度の酸素を吸入します。
流量や時間など医師の指示のもと使用しています。
在宅用の酸素濃縮器と移動用には酸素ボンベがあります。

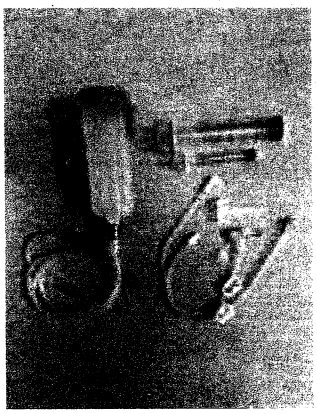
吸引器
口腔内、鼻腔内、カニューレ内などに
吸引カテーテルを挿入し、たん、鼻水などの
分泌物の吸引を行います。
電動タイプのものと、手動タイプのものがあります。

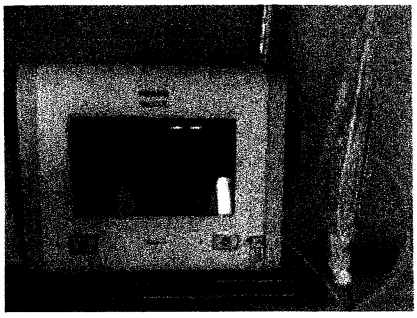




吸入器
霧状の薬剤を吸入したり、スチームを吸入したりすることで
呼吸状態を緩和します。置き型のものや手に持てるサイズのものなど
いろいろな種類があります。

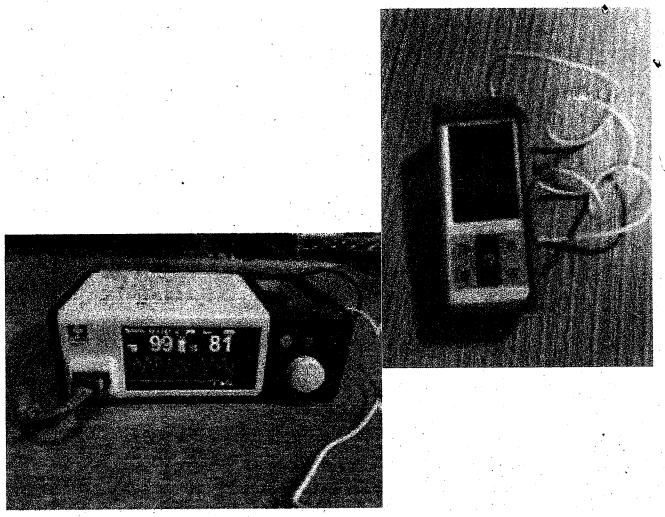
注入セット
食事（ペースト食など）栄養剤、水分、薬などを経鼻チューブや
胃瘻チューブなどから、それらに応じた物品を使い注入します。
（ボトル、シリンジ、接続チューブなど）

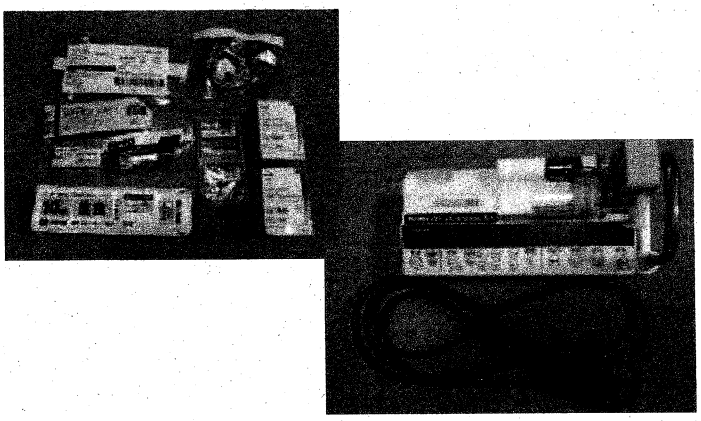




人工呼吸器
様々な理由で、自力で呼吸が十分にできない状態にあり、
手動や機械で肺に空気を送ることで呼吸を助けることを人工呼吸といい、
その役割を果たす機械のことを人工呼吸器といいます。

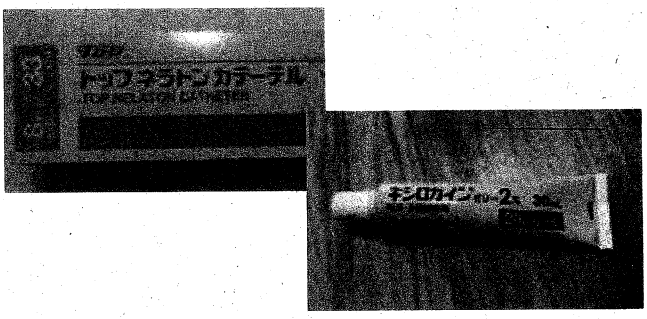
パルスオキシメーター
SPO2（血中酸素飽和度）は肺や心臓の病気で
酸素を体内に取り込む力が落ちてくると下がります。
SPO2 が９０%以下の場合は十分な酸素を全身の
臓器に送れなくなった状態（呼吸不全）になっている
可能性があるため適切な対応が必要です。
パルスオキシメーターは SPO2 だけでなく
脈拍数も同時に表示します。
酸素同様、在宅用と携帯用のものがあります。



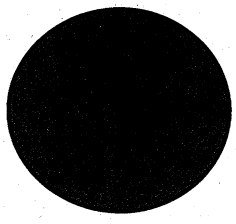


シリンジポンプ
皮下注射用に使用しています。
ハイゼントラという免疫グロブリンの
血液製剤専用のシリンジポンプです。
薬液をシリンジに移し替え、
針を刺し、ポンプにセットし、
時間をかけてゆっくり薬液投与をおこないます。

導尿
原因はいろいろありますが、おしっこがうまく
出せない場合にそれを助ける手段の一つです。
カテーテルという細い管と潤滑剤を使って
おしっこを出します。



医療的ケア安心サポート事業
スクールバスでの通学が難しい医療的ケア児を対象に、福祉タクシー等へ看
護師が同乗して登下校を支援する事業です。



週に２回、下校時に利用しています。
利用を始めるまでの手続きには少し時間がかかりましたが、
学校まで迎えに行く必要がなくなり、
家で待つだけでよくなったので時間的にゆとりができました。
自宅到着時には、看護師さんから学校での様子や
乗車前のバイタル、車内での医療的ケアについて
引き継ぎがあるため、安心して利用できます。

これらの医療機器や事業などを含め、医療的ケア（生活の援助）があるので、Ａさん、Ｂさんも
楽しく学校に行けたり、好きなことをしたりできます。
皆さんが、メガネをかけたり、補聴器を使ったりするのと同じです。
「医療的ケア」（生活の援助）があれば、息をしたり、ご飯を食べたりするのが楽になります。
特別なことではありません。少しでも身近に感じてもらえたらと思います。